



4～5月に市内で行われたイベントなどについてお知らせします

鬼怒川温泉夜桜大宴会

4月6日(土)～14日(日)、護国神社・温泉神社境内で夜桜大宴会が開催。桜が咲き誇る会場はライトアップされ、来場者は幻想的な雰囲気を楽しみました。

ステージでは、^{げいぎ}芸妓の踊りや和楽器などの演奏が行われた他、こたつ式の^{さじき}棧敷席が用意され、地元グルメの屋台も出店しました。



こたつでステージとグルメを堪能



高田家のしだれ桜の下で記念写真



「毎年、岸野家の桜を楽しみに見に来ています」という宇都宮市のご夫妻



つぼみの特徴を解説する清水さん

4月5日(金)～26日(金)の3週間にわたり、日光桜回遊が開催されました。日光には樹齢200年を超える桜の名木が数多くあり、老舗や名店が桜にちなんだ商品で、桜回遊におもてなしを添えました。日光植物園では桜ガイドツアーが16日(火)・20日(土)・27日(土)に開催され、同園の清水淳子さんが桜の魅力や見分け方など分かりやすく解説しました。初日の午前9時には61名が参加し、参加者は実際に桜の花やつぼみに触れながら熱心に観察していました。

日光桜回遊



日光植物園桜ガイドツアーの様子



登橋神事で男体山に拜礼する参加者

弥生祭
4月13日(土)～17日(水)、弥生祭が行われました。
16日(火)の宵まつりでは、東西11町の花家体(はなやたい)が街中を練り歩いた後、全ての家体が神橋に集まり、多くの人々に見守られる中、神橋上で登橋神事・手打ち式が執り行われました。
これから日光は新緑と本格的な観光シーズンを迎えます。



お囃子が春の訪れを告げます



家体と練り歩く子どもたち

アンナさんのおしゃべりサロン

4月11日(木)、市役所本庁舎で、市国際交流員のアンナさんと交流するイベントが開催されました。アンナさんは母国のニュージーランドの紹介をし、参加者たちは質問を交え、興味深そうに聞いていました。参加者の石川さん(小代)は「勉強してきた英語を試せた」と話してくれました。



アンナさんと交流する参加者



足尾まつり



大人も子どもも顔に汗して山車を引く

5月3日(金・祝)、足尾まつりが開催され、快晴の空の下、各地区から華やかな山車が繰り出されました。

かつて足尾銅山が盛んなころ、本山鉦山神社や通洞鉦山神社の「山神祭」の祭りとして毎年春に「山神祭」が盛大に行われ、関東一の祭りといわれるほどのにぎわいを見せていました。第二次世界大戦後は少年団による山車や神輿が主役の祭りに姿を変え、昭和48年に足尾銅山が閉山すると山神祭も終わりを告げました。しかし、住民の願いにより昭和52年に「足尾まつり」として復活しました。

初めて祭りを見た片岡さん夫妻(宇都宮市)は、「ひょっとこやおかめに扮した子どもたちが、一生懸命踊る姿に元気をもらいました。素晴らしいお祭りですね」と目を細めていました。



お囃子を速く演奏する「競り」に注目!



重厚な音色を奏でる金子さん



見事な指さばきを披露する大嶋さん

4月20日(土)、小杉放菴記念日光美術館で、「金子鈴太郎×大嶋浩美」の演奏会が開催されました。那須塩原市出身のチェロ奏者、金子さんと本市出身で日光観光大使のピアノニスト、大嶋さんの共演で、ハイドン、バッハなどの古典の曲やハンガリーの民謡が取り入れられた「ハンガリー狂詩曲」などが演奏され

ました。午後6時の開演後、日暮れとともに窓の外にライトアップされた桜が浮かびあがる幻想的な雰囲気の中、約130人の来場者は美しいハーモニーに耳を傾けていました。
来場した齋藤さん(所野)は「チェロとピアノの合奏を初めて聴きました。音色がとてもすてきでした」と話してくれました。



開花情報などわしくは専用ホームページ(www.yamasyokubutu.co.jp)へ

上三依水生植物園オープン

4月15日(月)、植物園がオープンし、入園者先着100名にミスミソウの花の苗が手渡されました。この日は、リュウキンカなどが見頃を迎えていましたが、5〜6月からはクリンソウやヒマラヤの青いケン、ニッコウキスゲなどが開花し始めます。また、6月2日(日)には、園内の熊野堂神社で「みより獅子舞」の奉納が行われます。



令和元年5月1日に結婚した齋藤祐作さんと咲帆さん

令和初日に結婚

新元号「令和」の初日、5月1日(水・祝)は、大安吉日ということもあり、日光市に26件の婚姻届と3件の出生届が提出されました。この婚姻届の件数は、市で通常時に受理する約1カ月分の件数です。本庁舎では、4月30日の深夜から令和になるのを待って5組が婚姻届を提出し、新しい門出に心さわしい記念の日を迎えました。